

はじめよう経済学⁺*Plus*

第7講 AD-AS分析(2)

講師：加藤 真也

今回(第7講)は…

- **AD曲線の導出**
- **AD曲線の右シフト**
- **AD-AS分析**

45度線分析、IS-LM分析
⇒ 物価 P は一定(短期)

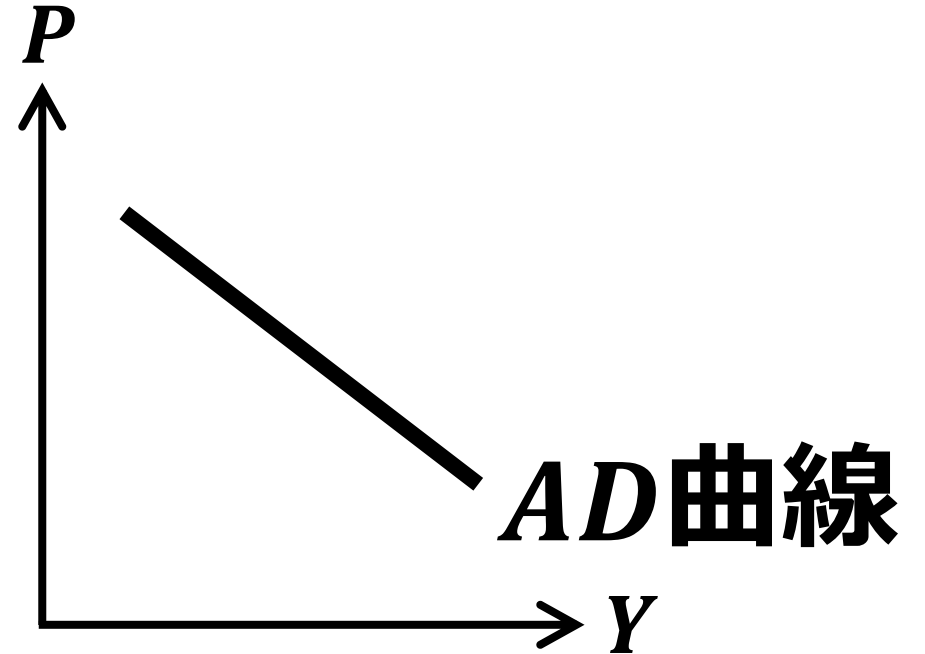
AD-AS分析

⇒ 物価 P は変化(長期)

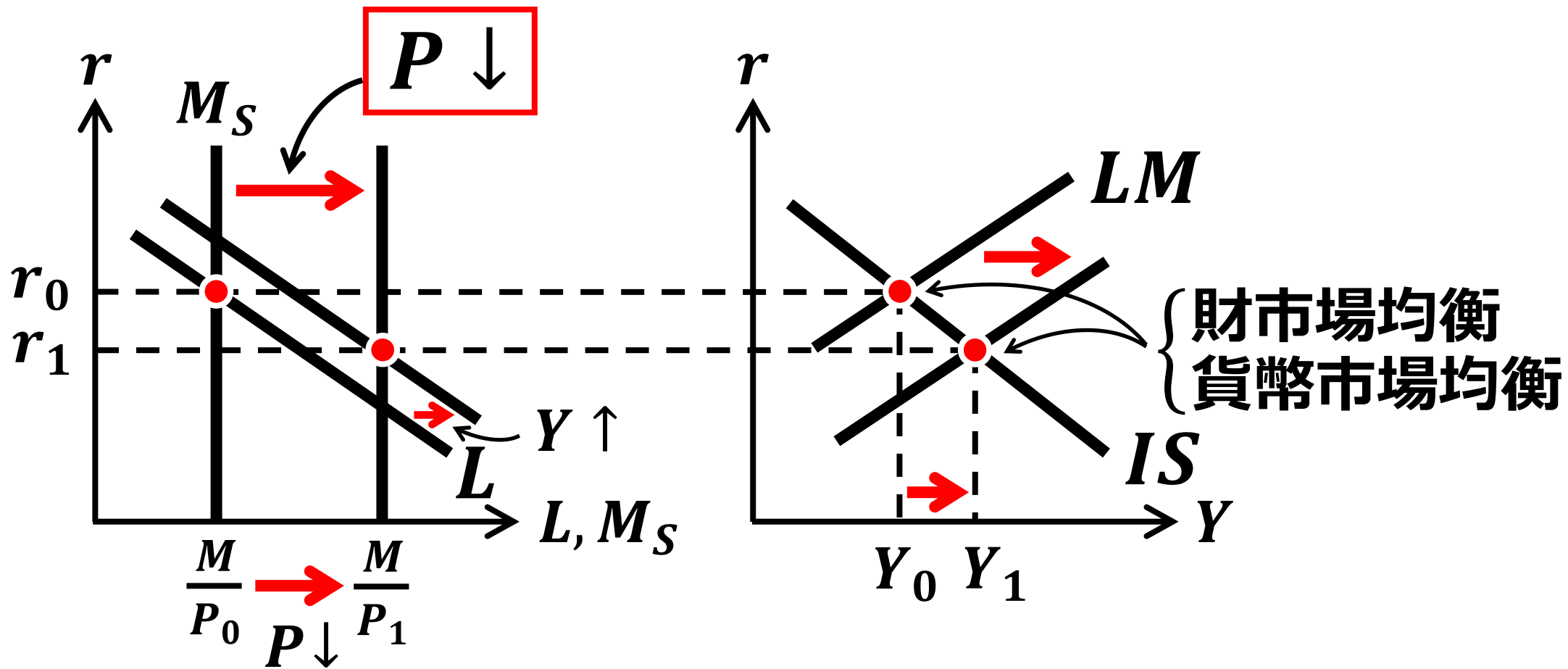
まとめ

	Y	r	P
45度線分析	変化	固定	固定
IS-LM分析	変化	変化	固定
AD-AS分析	変化	変化	変化

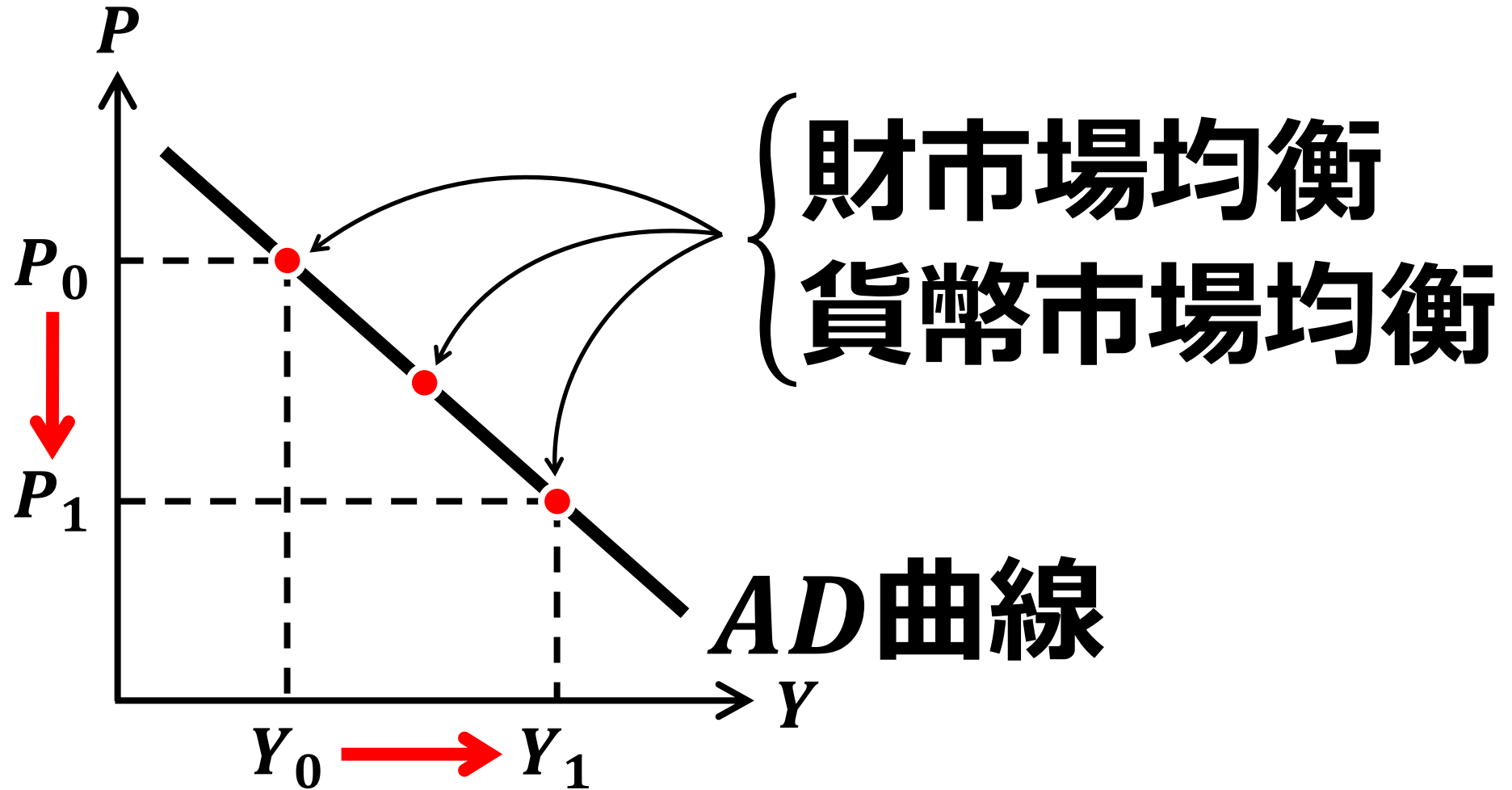
- **AD曲線の導出**
(総需要曲線)



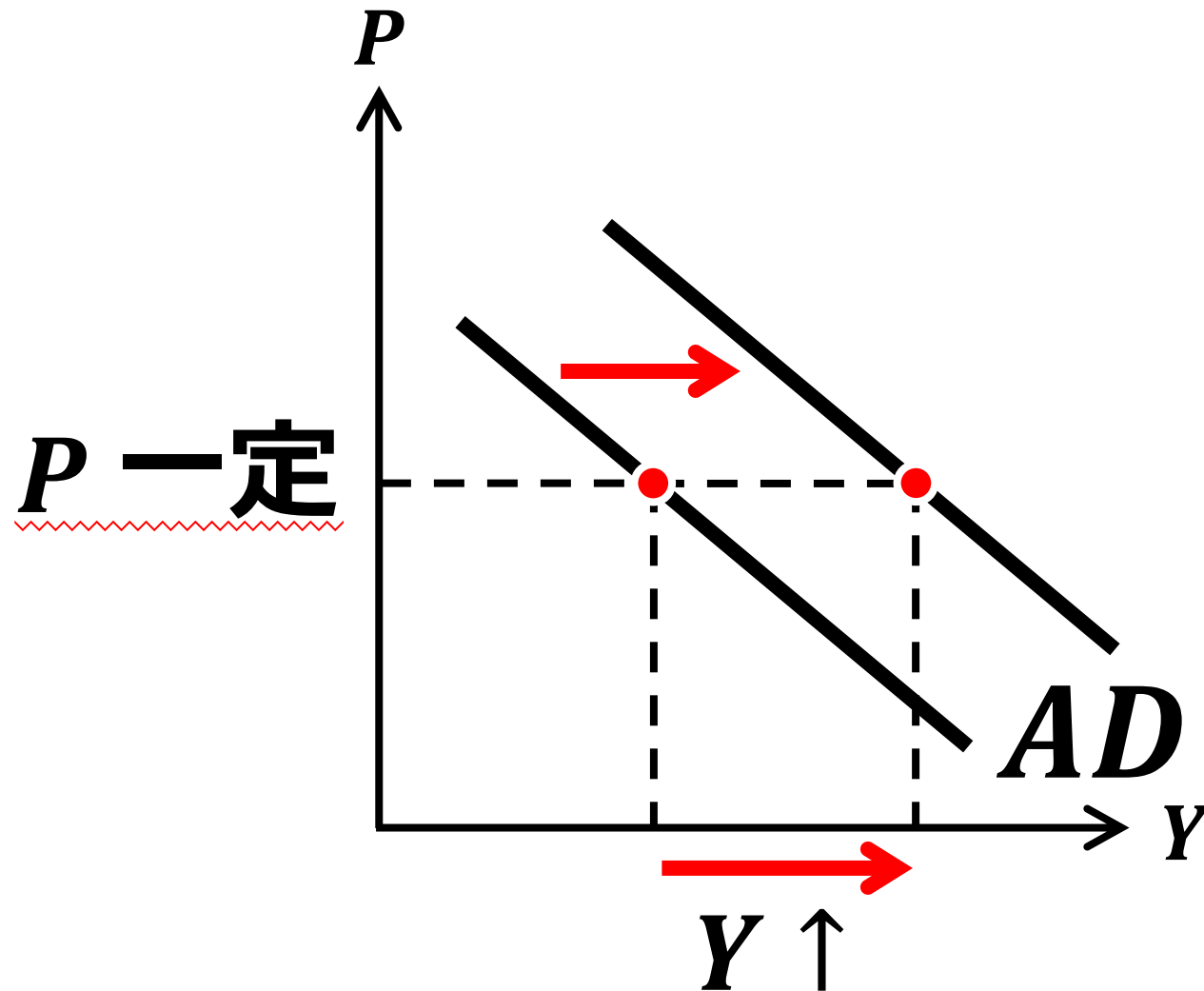
Aggregate : 集計する
Demand : 需要



よって、



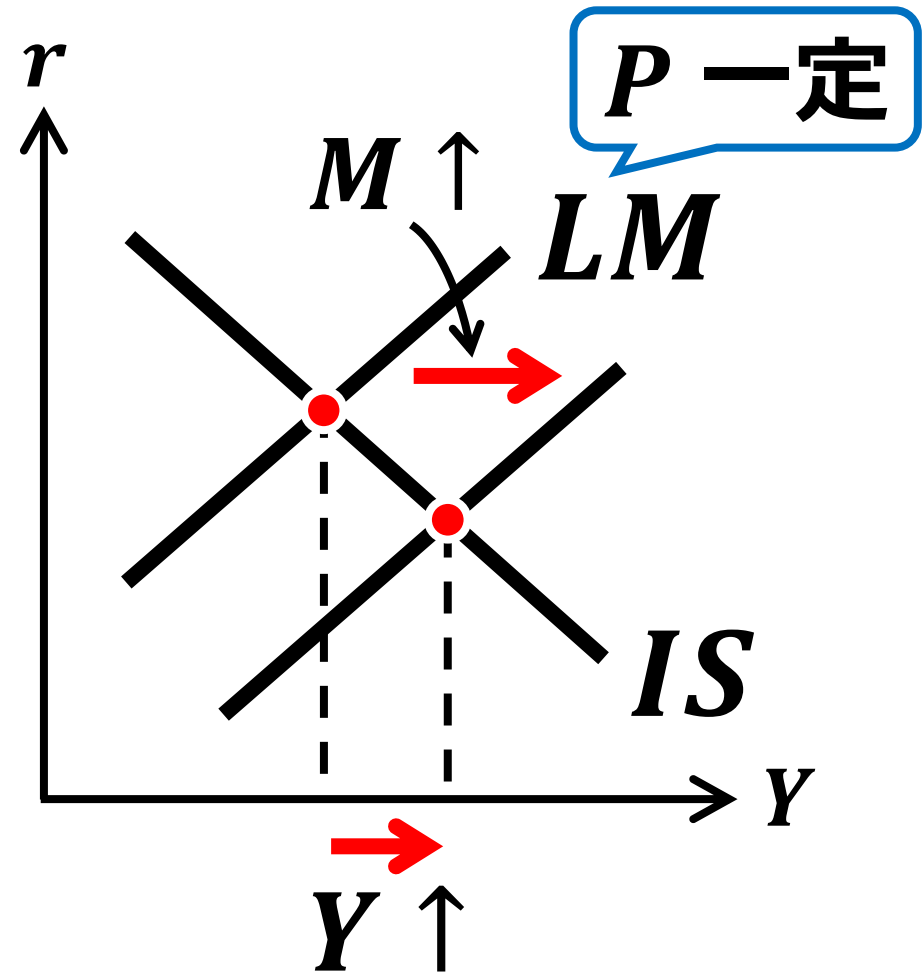
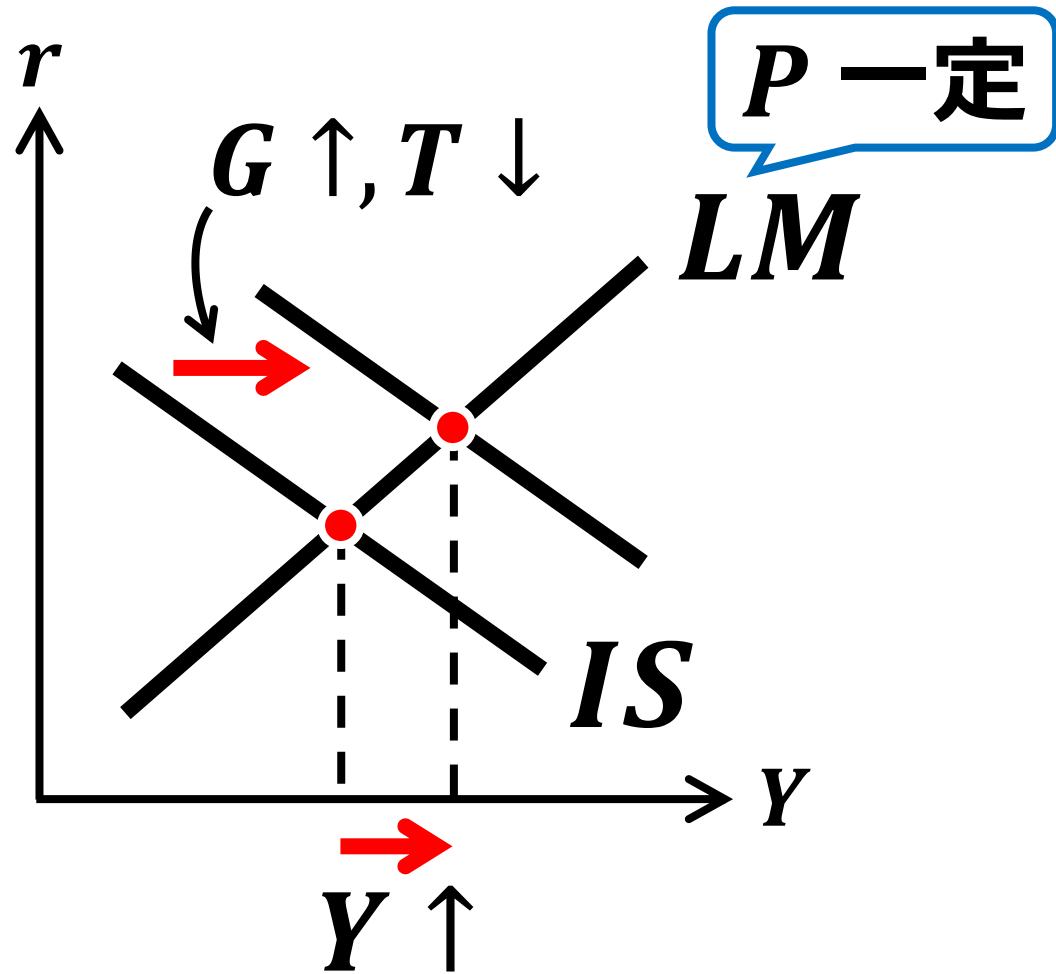
- **AD曲線の右シフト**



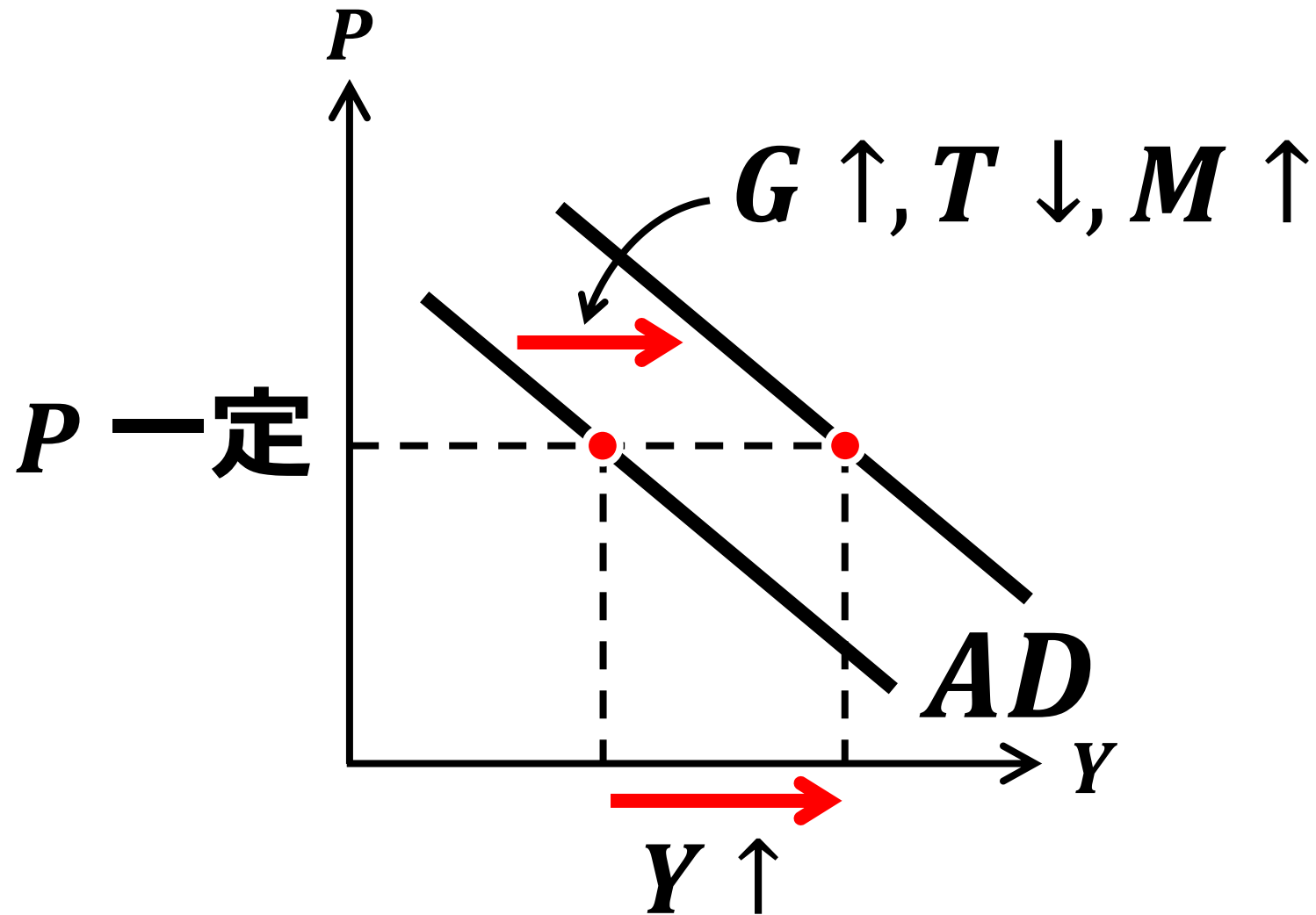
「 P を一定として Y を増やすには？」

結論 $G \uparrow, T \downarrow$ (拡張的財政政策)

$M \uparrow$ (金融緩和政策)



よって、



なぜ「総需要」曲線？

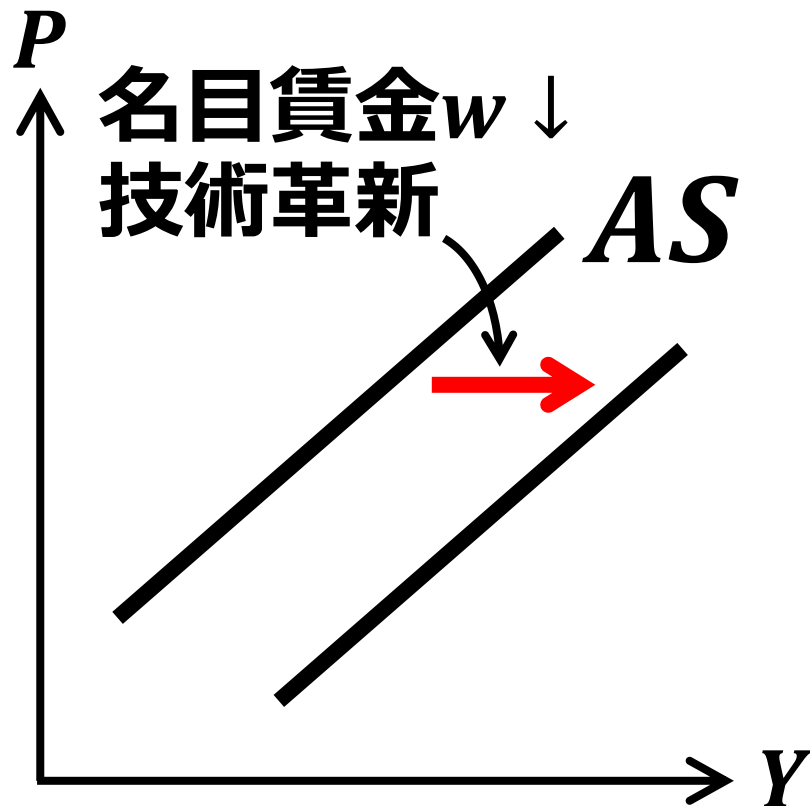
45度線分析、IS-LM分析
から得られる Y は、
需要の要因で決まるため

消費 C , 投資 I , 政府支出 G

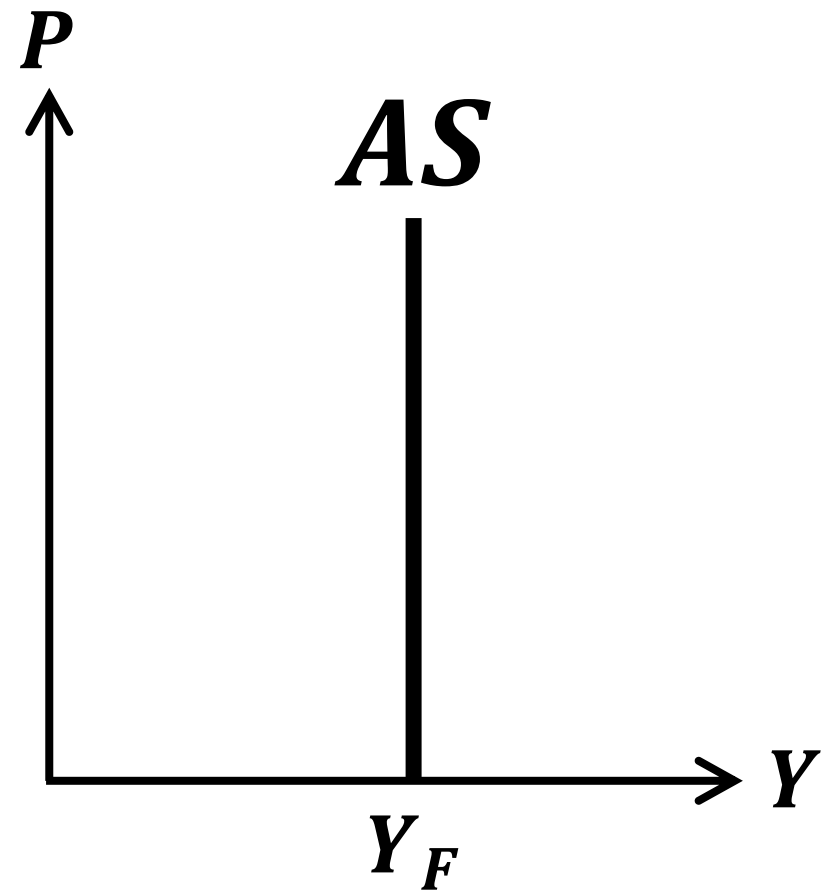
(復習) AS曲線

曲線上で労働市場が均衡

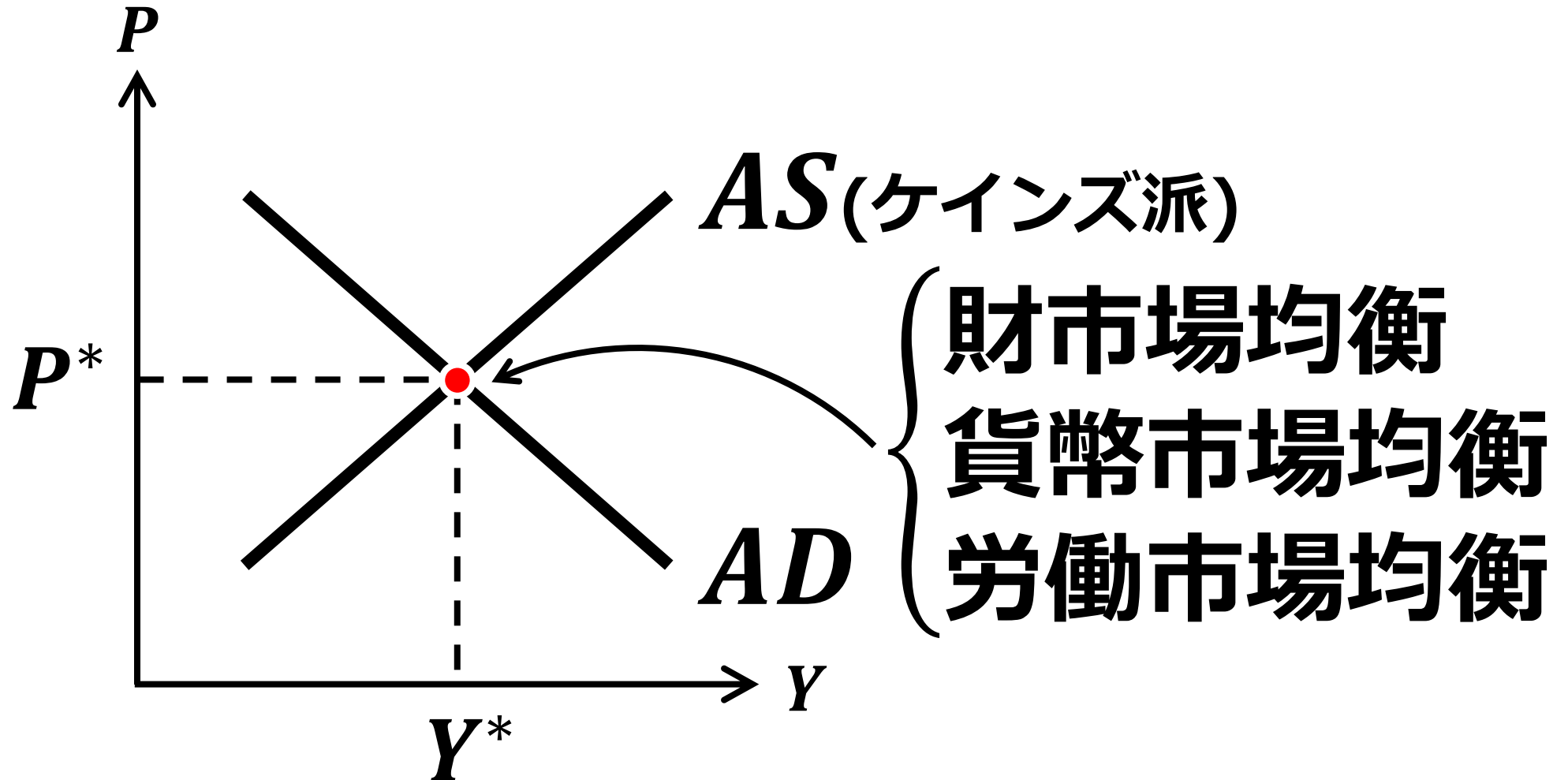
ケインズ派

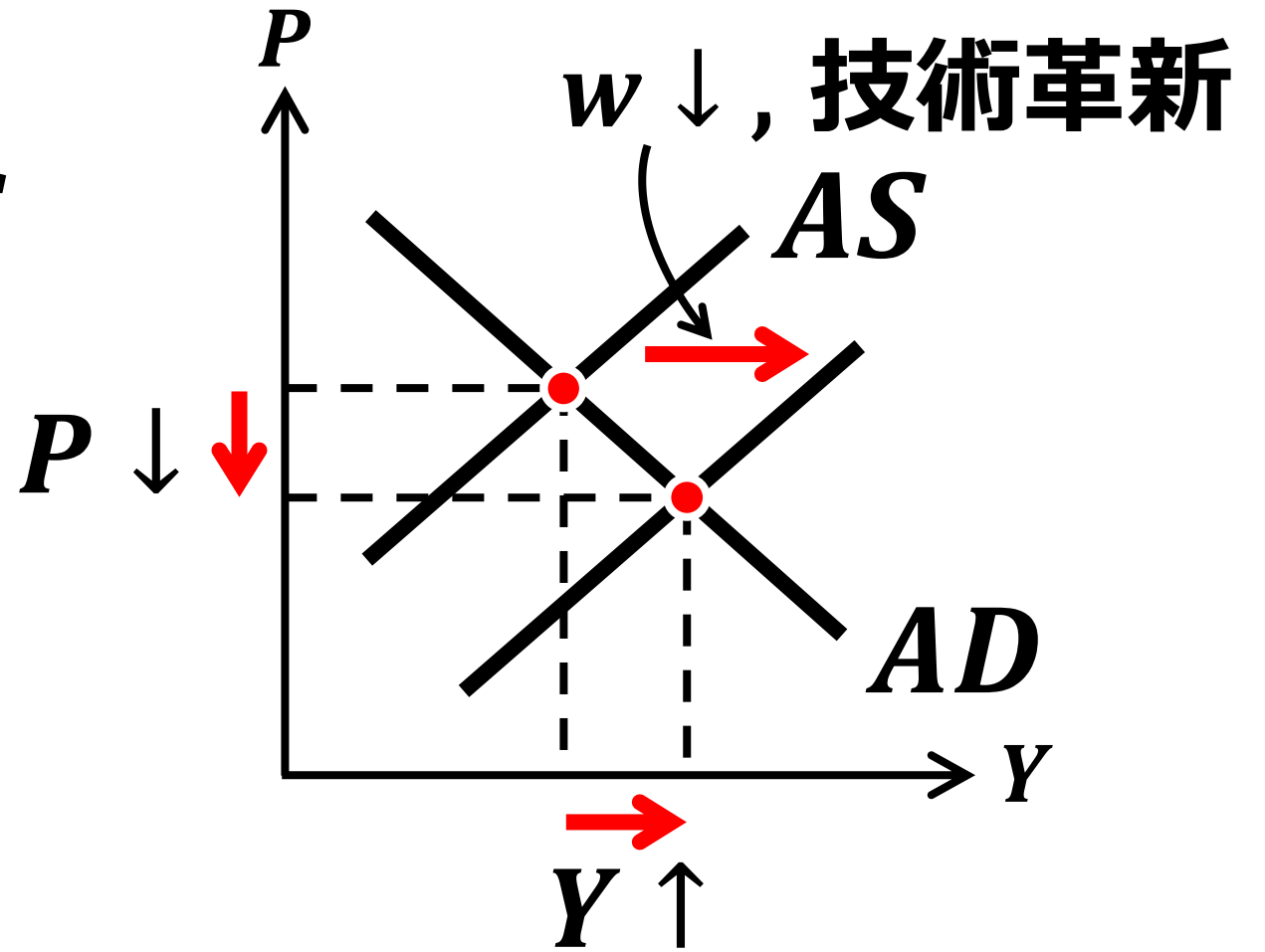
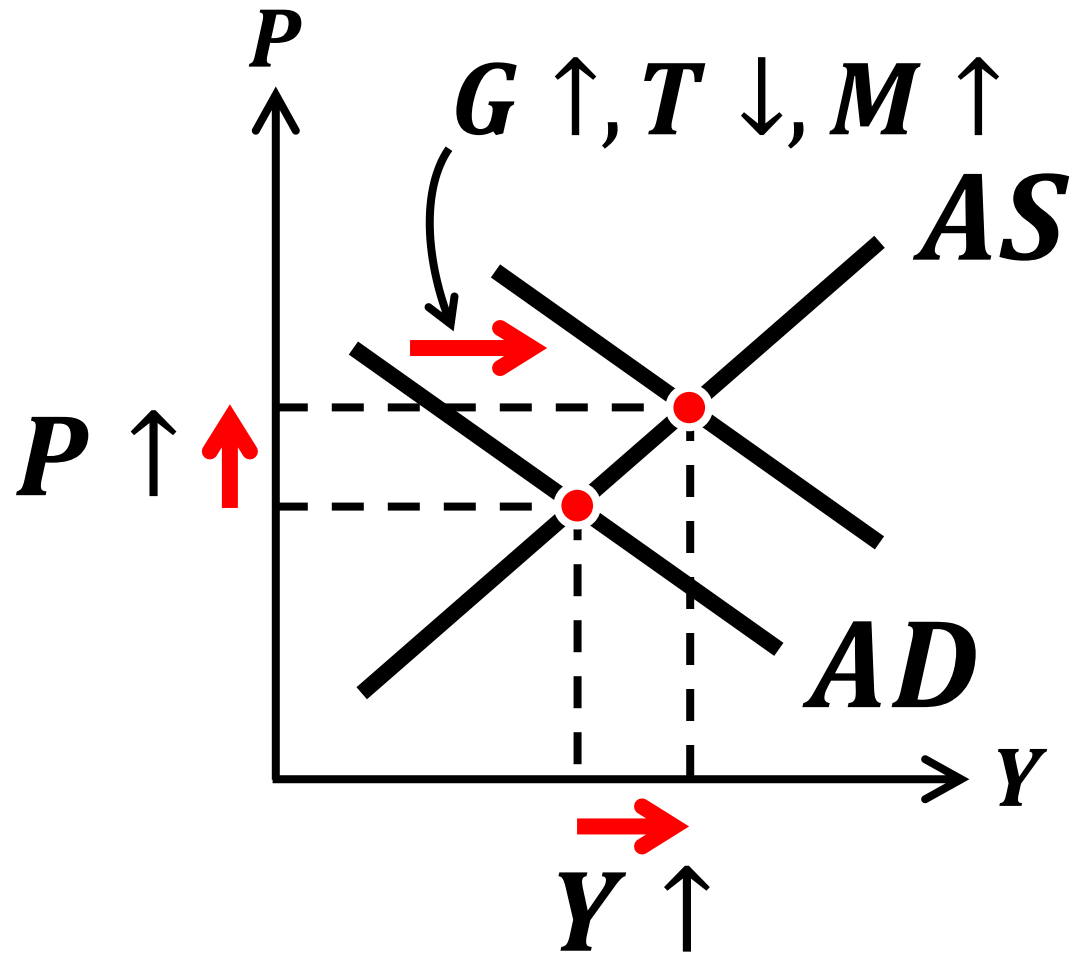


古典派

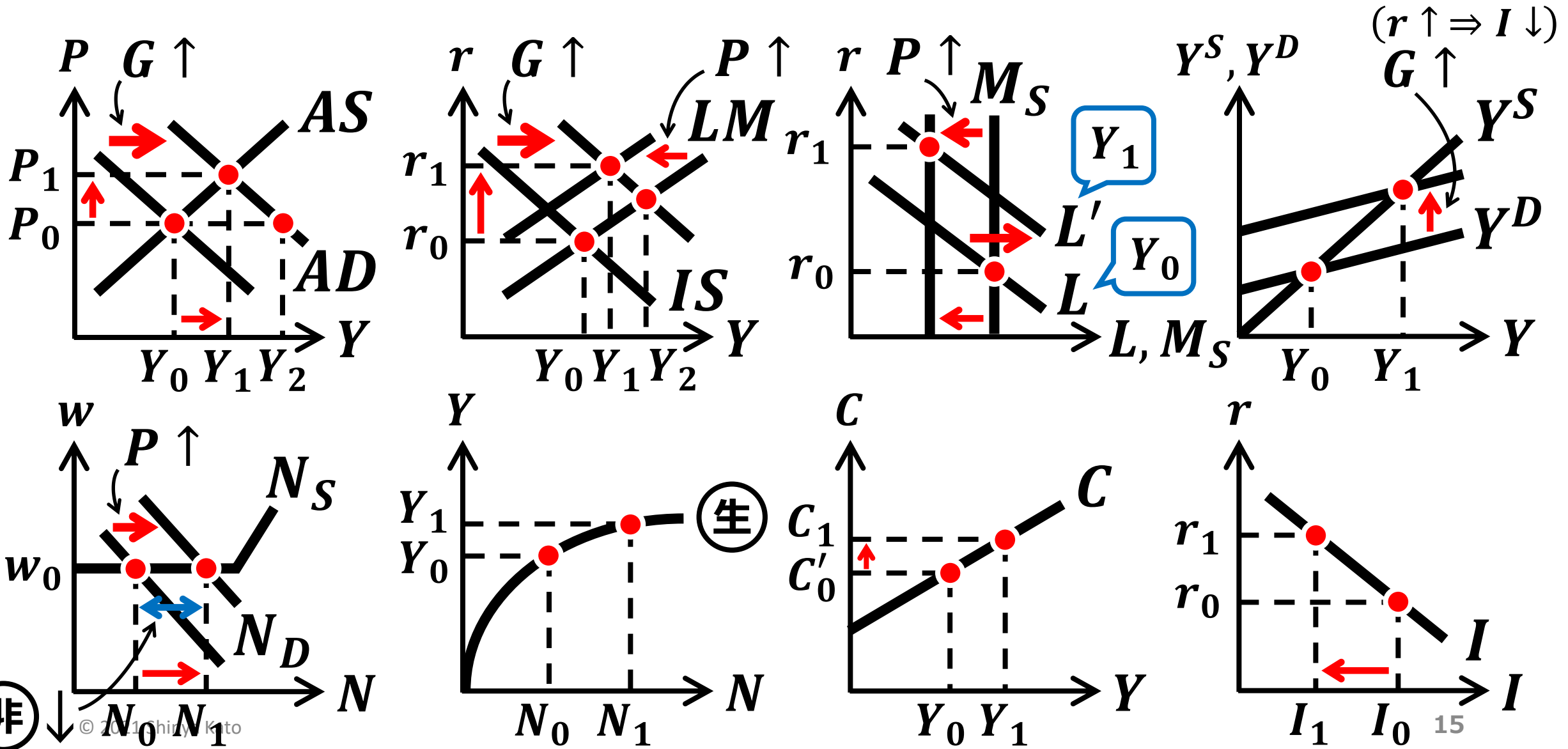


- AD-AS分析 (総需要・総供給分析)

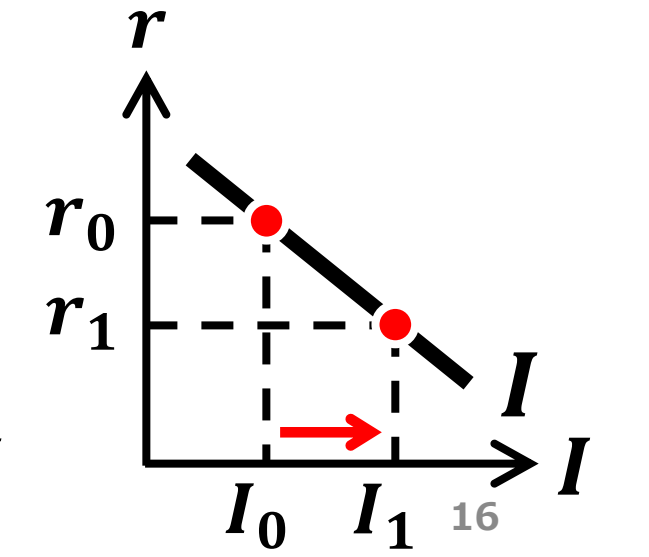
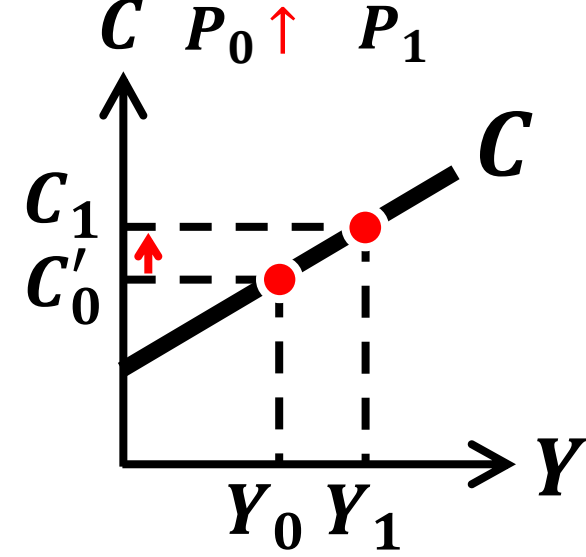
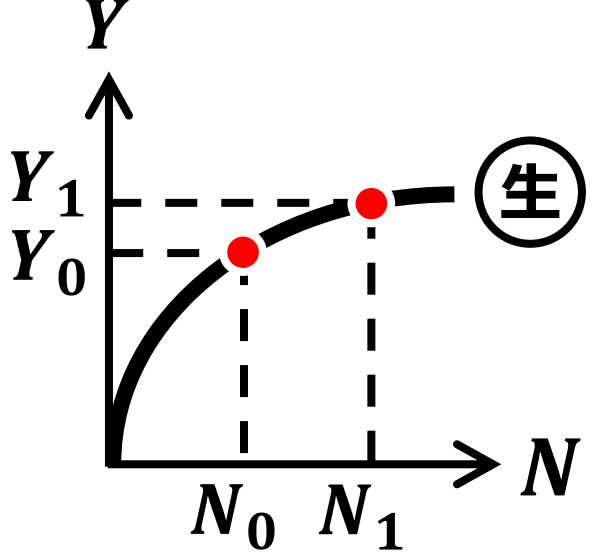
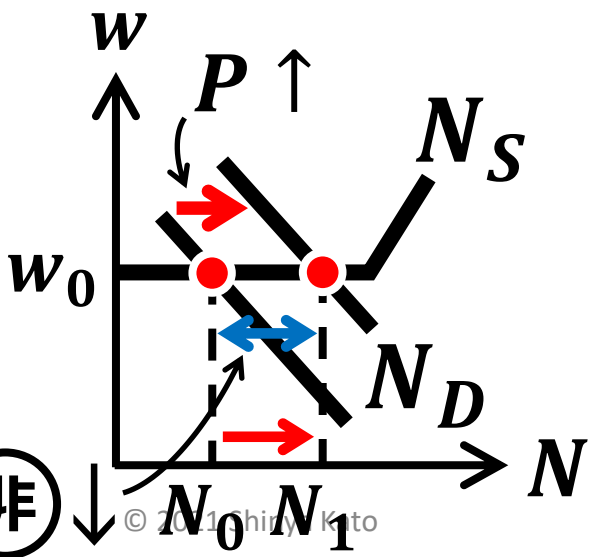
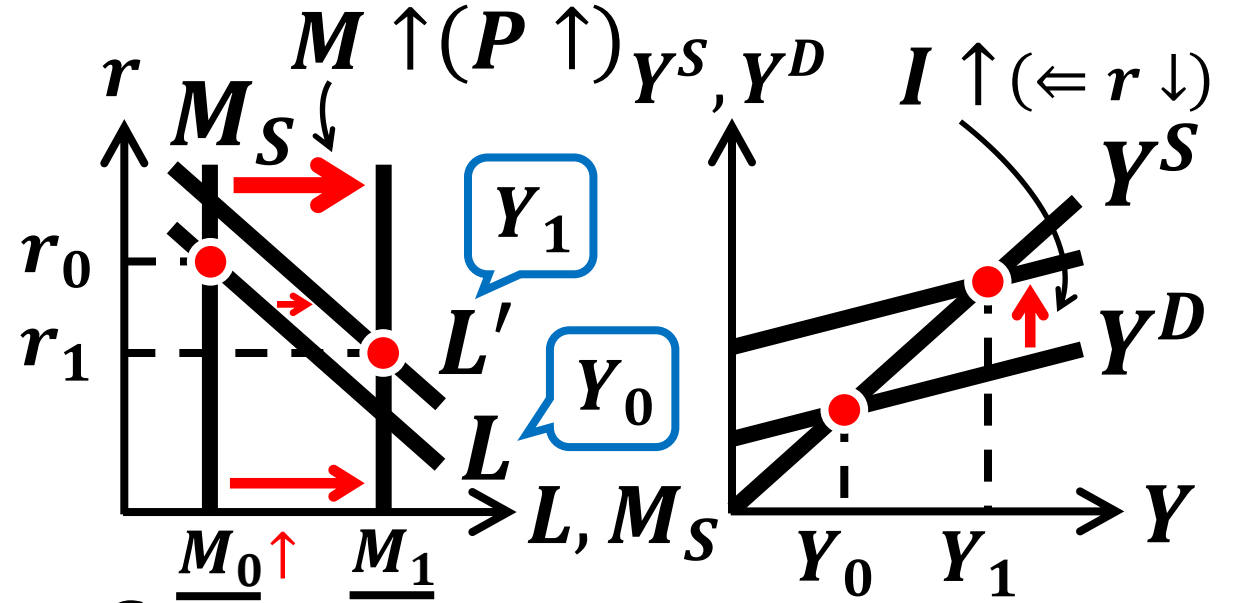
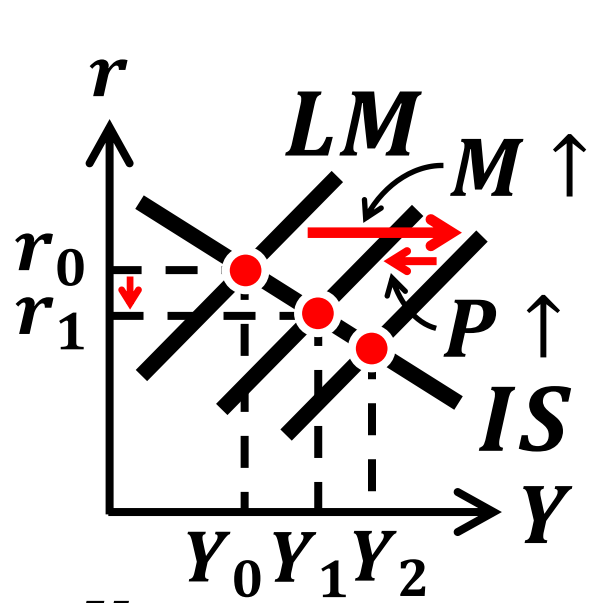
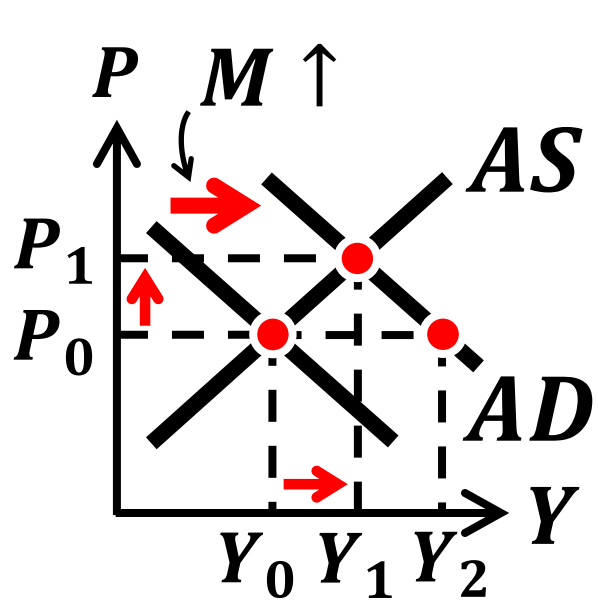




例 1 擴張的財政政策(公共事業 $G \uparrow$)



例2 金融緩和政策(マネーストック $M \uparrow$)



© 2011 Shiryu Kito

次回(第8講)は…

- マンデル=フレミング・モデルを学びます
- 為替レートが登場します
- 45度線分析に輸出 EX と輸入 IM を加えます